





JPYS ホワイトペーパー v1.1

スマートフォン担保型 円ステーブルコイン — JPYS

発行主体: Mobicco

ホワイトペーパー バージョン: 1.1

最終更新日: 2025年7月16日

1. 序論：実物資産に基づいたデジタル金融の革新

Mobiccoは、デジタル資産への参入障壁を低くし、実生活に応用可能なステーブルコインを通じて、新たなグローバル金融パラダイムを提示することを目指しています。その中心となるのが、日本円 (JPY) と1:1の価値連動をするステーブルコイン **JPYS** です。JPYSは単なるペッグコインに留まらず、スマートフォンという**実物資産を担保**として発行される点で、他に類を見ない安定性とアクセス性を提供します。

さらに、JPYSは単独の決済手段を超えて、**J World Pay** および **J World Bank** へと繋がる総合的なデジタル金融エコシステムを構築し、誰もが簡単に預金、融資、決済を体験できるよう設計されています。Mobiccoは、9年近くにわたりコイン関連開発（取引所、決済、銀行、先物・証拠金取引所、バイナリーオプションプラットフォームなど）に専念してきた専門開発企業であり、24年の経験を持つ企画者、35年の経験を持つサーバー開発者、13年の経験を持つウェブ開発者が主要メンバーとしてプロジェクトを推進しています。



2. JPYS概要



2.2 担保システム構造

JPYSは、既存の法定通貨や現金性資産ではなく、スマートフォンという実物資産を担保として活用する革新的な構造を持っています。これはJPYSの安定性を強化し、実物資産との連動を通じてデジタル資産の信頼性を高める上で不可欠な要素です。

発行構造:

1. ユーザーはスマートフォンをMobico認証センターに登録・提出します。
2. AIベースの鑑定アルゴリズムおよびリテール相場API (楽天、Amazonなど) を通じて、スマートフォンのリアルタイム価値を評価します。
3. 評価された価値が基準相場の80%を超える場合、その価値に相当するJPYSを発行します。

価値再調整システム:

1. スマートフォンの相場は毎日更新され、価値が下落した場合はJPYSの回収、または追加担保を要求します。
2. 担保が不足した場合、スマートフォンを回収して流通販売を行うか、新しいスマートフォンへの交換を提案します。このシステムにより、JPYSコインの価値はその時点の価格に合わせて維持されます。

安全性:

- 担保として提供されたスマートフォンは保険に加入しており、安全な物理保管場所に保管されます。
- 紛失・盗難・破損時の損失を最小限に抑えるため、緊急買い戻しシステムを構築し、ユーザー資産を保護します。

2.1 コイン特性

- 名称: JPYS
- 価値連動: 1 JPYS = 1 JPY (日本円)
- 総発行量: 1,000,000,000 JPYS (固定発行)
- 基盤ネットワーク: TRON (TRC-20)
- 担保資産: スマートフォン (実物デバイス)



3. 技術仕様 (Technical Specifications)

JPYSコインは、低い取引手数料と高い安定性を特徴とする**TRONネットワーク (TRC-20準拠) **を基盤として発行されています。

項目	内容
ネットワーク	TRON ブロックチェーン (TRC-20)
手数料構造	超低コストの手数料、平均 \$0.0001 未満
TPS 処理速度	約2,000件以上 TPS (Transaction Per Second)
拡張性	DApp連携および決済API拡張可能、大規模トランザクション処理能力に優れる

4. JPYSエコシステム構造

JPYSは、広範囲なオンライン/オフライン決済システムをサポートし、様々な産業分野で活用される包括的なデジタル金融エコシステムを構築します。

決済を革新し、数多くの産業分野でイノベーションを促進する強固なデジタル金融エコシステムを開拓しています。



4.1 J World Pay

J World Pay (<https://jpworldpay.com>) はJPYSの決済専用ゲートウェイであり、以下の多様な決済インターフェースを提供し、あらゆる決済システムをサポートします。

- **カジノおよびFXトレーディングプラットフォーム連携:** デジタル資産ベースの透明かつ迅速な取引を可能にします。
- **オンラインショッピングモール、ウェブサービス決済システム:** オンラインショッピングモールで手軽に商品を購入できます。
- **オフライン店舗QR/NFC決済:** 実店舗でのJPYSを通じた決済をサポートし、日常生活での活用度を高めます。
- **PG APIおよびPOSソリューション提供:** 加盟店がJPYS決済システムを簡単に導入できるよう支援します。

4.2 J World Bank (予定)

J World Bank (<https://jpworldbank.com>) はJPYSベースのデジタルコインバンクであり、JPYSエコシステムの最終目標です。以下の金融サービスを提供し、資産運用の機会を拡大し、包括的な資産管理システムを構築する予定です。

- **預金および利子収益:** JPYS預金に対する利子を提供し、ユーザーの資産増加を支援します。
- **JPYSベースの融資および信用評価システム:** JPYSを利用した融資サービスを提供し、新しい形式の信用評価システムを構築します。
- **資産管理およびKYC連携口座サービス:** JPYSを通じた包括的な資産管理サービスと、KYC (Know Your Customer) 連携口座を提供します。



5. 収益モデル

Mobicoは、JPYSエコシステムの持続可能な成長のために多角的な収益モデルを構築しています。最終的には、コインバンク設立を通じた金融収益が最大の比重を占めることになります。

項目	収益方式
PG手数料	J World Payを通じた全ての加盟店決済から発生するPG (Payment Gateway) 手数料。
送金手数料	ユーザー間のJPYS送金時に発生する微小手数料。
担保手数料	スマートフォン鑑定、登録、交換、買い取り、売却の過程で発生する手数料。
金融収益	J World Bank設立後の預金・融資の利子収益、流動性運用収益など、様々な金融サービスから発生する収益。最大収益源。





6. プロジェクトチームと実績

MobicoのJPYSコインプロジェクトは、金融およびブロックチェーン分野で長年の経験と深い専門知識を持つベテランチームによって推進されています。

- **開発経歴:** 暗号通貨、決済、取引所、証拠金・オプションプラットフォーム開発など、**9年以上の広範なコイン関連開発経験**を持つ専門企業が担当しています。
- **企画責任者:** 24年の経験を持つベテラン企画者で、多数の成功的なブロックチェーン企画プロジェクトを手掛けてきました。
- **サーバー開発者:** 35年の経験を持つ熟練のサーバー開発者で、分散システムおよび取引エンジン開発において比類ない専門性を有しています。
- **ウェブ開発者:** 13年以上の経験を持つ専門ウェブ開発者で、ユーザーフレンドリーな決済UI/UXおよび堅牢なAPI連携に特化しています。

これらの強力な専門性は、JPYSプロジェクトの成功的な開発と安定した運営のための確固たる基盤となります。

7. 規制および法務構造

MobicoはJPYSプロジェクトの全ての法的側面を徹底的に遵守し、透明で信頼性の高い運営に努めています。

今後の計画:

- MAS (シンガポール)、VARA (ドバイ)、FSA (日本) など主要国際金融機関への登録およびライセンス取得を検討する予定です。
- デジタル資産の保管規制など、変化するグローバルな規制環境に積極的に対応していきます。

法務顧問: 2名の弁護士と緊密に連携し、プロジェクトの全ての法的プロセスを進めています。

フィリピンCEZA (セザ) ライセンス準拠: フィリピン現地取引所のCEZA (Cagayan Economic Zone Authority) ライセンス要件に合わせて開発を進め、国際的な規制遵守と安定性を確保しました。

シンガポール法人運営: プロジェクトのグローバル展開と法的安定性のため、シンガポールに法人を設立し運営しています。

8. ロードマップ

JPYSプロジェクトの段階的な目標と計画は以下の通りです。

時期	目標
2025年 第3 四半期	JPYS発行、ホワイトペーパー公開、J World Payベータ版ローンチ
2025年 第4 四半期	主要暗号通貨取引所上場、ショッピングモール・カジノ決済連携開始
2026年 上半 期	FX、バイナリーオプションプラットフォーム、オフライン決済システム連携拡大
2026年 下半 期	スマートフォン担保プラットフォームの高度化、グローバル展開 (東南アジア、欧州など)
2027年	J World Bank設立および預金、融資など本格的な金融サービス開始





9. 結論

JPYSは単なるステーブルコインではなく、スマートフォンという実物資産と先端技術革新を組み合わせた新しい金融プラットフォームです。誰もが持つスマートフォンを担保として活用し、デジタル資産への参入障壁を低くし、グローバルな低手数料決済と効率的な資産管理を支援することで、最終的にデジタルコインバンクという究極の目標を実現します。JPYSは次世代の実物連動型ステーブルコインとしての道を確認たるものとするでしょう。

「JPYSは日本から始まり、世界へと拡散する新しい価値の円を目指します。かつて世界経済を牽引した円の地位を、デジタル時代に再び実現させます。」

THANK YOU FOR YOUR ATTENTION